（3） がん検診概要

胃がん検診

子宮がん検診

肺がん検診

乳がん検診

大腸がん検診

前立腺がん検診

胃がん検診

831事業所及び個人受診者15,143人と、ドックで4,592人、健康管理センターで12,211人の計31,946人を実施した。前年度に比べて、164人(0.51％)の減少となった。
また、受診者の6.3％にあたる1,999人が要精検となり前年度より0.1ポイント高い要精検率となっている。年間の実施日数は1,502日（前年より45日の増加）で、一日当たり21.3人を実施した（表1）。
受診者総数31,946人を男女別でみると、男性20,808人（65.1％）、女性11,138人（34.9％）で、男性は前年度比で同ポイントとなり、全体の約7割を占めている（図1）。
年齢階層別では、40代11,927人（37.3％）、50代10,647人（33.3％）、60代4,600人（14.4％）の順となっている(図2)。過去6年間の推移をみてみると60代以降では上昇傾向を示し、50代ではほぼ横ばいに推移しているが、40代、30代以下では下降傾向を示している点が気がかりなことである(図3)。

総合健診センター　　表 1　受診者数及び要精検者数

	出張検診		施　設		ドック		合　計		のべ実施日数	一日当たり実施数
	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)		
事業所	9,075	539 (5.9)	6,068	311 (5.1)	4,592	359 (7.8)	19,735	1,209 (6.1)	1,157	17.1
附属あおもり健康管理センター										
事業所	2,822	208 (7.4)	9,389	582 (6.2)	*	*	12,211	790 (6.5)	345	35.4
合　計										
事業所	11,897	747 (6.3)	15,457	893 (5.8)	4,592	359 (7.8)	31,946	1,999 (6.3)	1,502	21.3
前年度	12,134	753 (6.2)	15,399	930 (6.0)	4,577	314 (6.9)	32,110	1,997 (6.2)	1,457	22.0

図 1　受診者数（男女別）

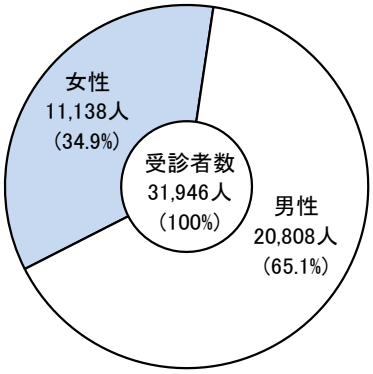


図 2　年齢階層別受診状況

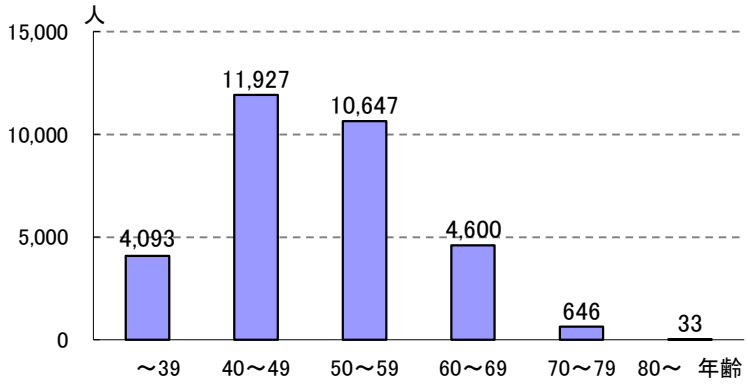
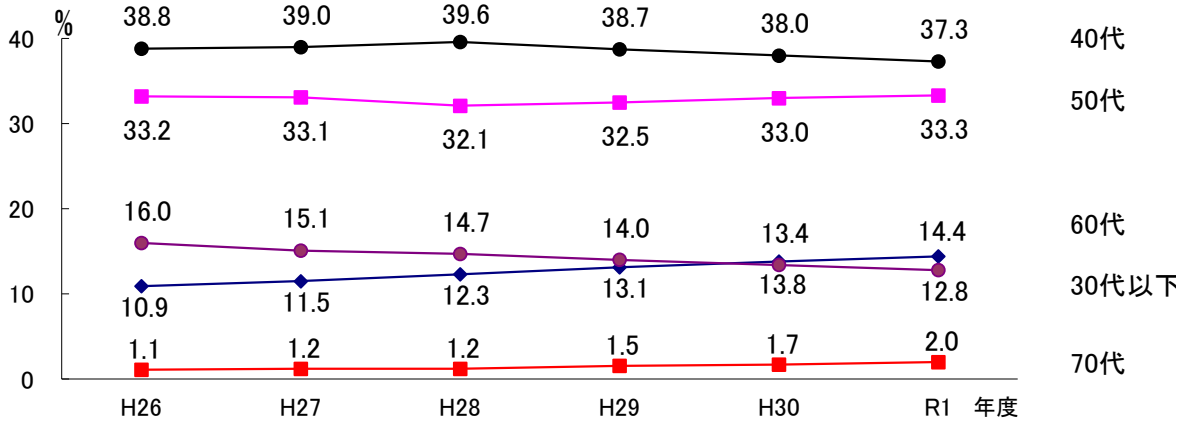


図 3　年齢階層別受診率（平成26年度～令和元年度）



<精検受診状況>

要精検者1,999人のうち精検受診者は1,455人（72.8％）で（図４）、前年より0.9ポイント減の精検受診率となった。男女別の精検受診率は、女性の79.7％に対し、男性は70.7％と女性より9.0ポイントも低かった（表２）。また、実施主体別で見ると、市町村の精検受診率84.2％に比べ、事業所の精検受診率は72.7％、ドックでは73.3％で11.5ポイントと10.9ポイント低かった（表３）。

精検受診者の主な発見疾患は、胃がん発見数13人（0.04％）のうち早期がん11人、進行がん2人で、胃ポリープ194人（0.61％）、胃潰瘍36人（0.11％）、胃炎725人（2.27％）などであった（表3）（表4）（表5）。

図４ 精検受診状況

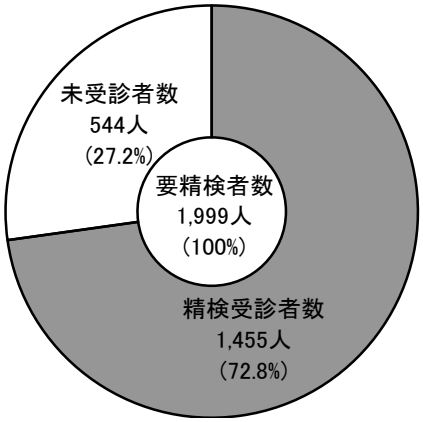


表2 精検受診状況（男女別）

	要精検者数	精検受診者数 (%)	
男 性	1,545	1,093	(70.7)
女 性	454	362	(79.7)
計	1,999	1,455	(72.8)

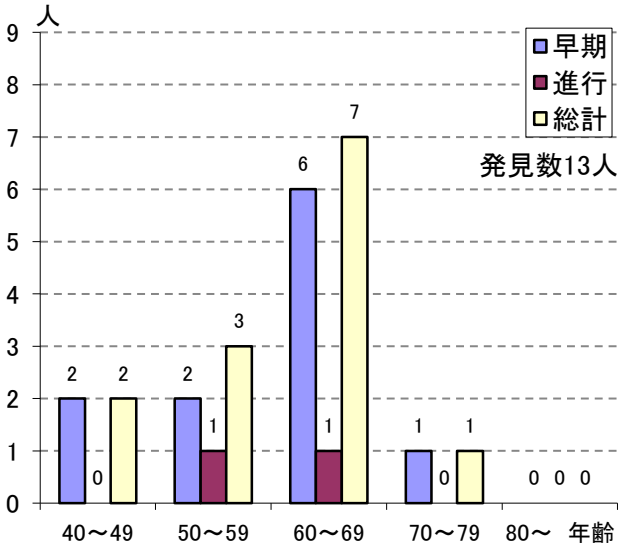
表3 主 な 発 見 疾 患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	精密検査結果 胃がん 早期	胃がん 進行	胃がん疑	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	共存潰瘍	胃潰瘍瘢痕	胃炎	その他	異常なし	計	要精検者からの受診報告 本人
事業所	27,354	1,640	1,192 (72.7)	10 8	2	4	154	32	14	0	73	626	79	161	1,153	39
ドック	4,592	359	263 (73.3)	3 3		0	40	4	4	0	9	99	45	49	253	10
合 計	31,946	1,999	1,455 (72.8)	13 11	2	4	194	36	18	0	82	725	124	210	1,406	49

表4 発見がん（年齢階層別・男女別・早期進行別）

		早 期	進 行	男女計	合 計
40～49	男	1	0	1	2
	女	1	0	1	
50～59	男	1	0	1	3
	女	1	1	2	
60～69	男	6	1	7	7
	女	0	0	0	
70～79	男	1	0	1	1
	女	0	0	0	
80～	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
男女計	男	9	1	10	13
	女	2	1	3	
合 計		11	2		

表5 発見がん（早期進行別・年齢階層別）



子宮がん検診

248事業所及び個人受診者 1,724人と、ドックで 1,576人、健康管理センターで 1,307人の計 4,607人に実施した。なお、頸部受診者の 2.3％に当たる 104人が要精検となり、前年より 0.4ポイント増の要精検率となった（表１）。

検査方式別では、出張検診及び施設（センター）で 3,031人（ 65.8％）、ドックで 1,576人（ 34.2％）であった（図1）。前年に比べて、出張検診及び施設（センター）で120 人の増 、ドックで 65人の減で計 55人の 増加であった。

また、一次検診における主な発見疾患は、子宮筋腫 68人（ 2.1％）、ポリープ54人(1.6%)などであった。

総合健診センター　　表 1　受診者数及び要精検者数（頸がん）

	受診者数	要精検者数 (%)	実施日数	一日当たり実施数
出張検診	464	12 (2.6)	8	58.0
施設	1,260	34 (2.7)	18	70.0
計	1,724	46 (2.7)	26	66.3
ドック	1,576	37 (2.3)	103	15.3
合計	3,300	83 (2.5)	129	25.6

附属あおもり健康管理センター

施設	1,307	21 (1.6)	39	33.5
計	1,307	21 (1.6)	39	33.5

合　計

出張検診	464	12 (2.6)	8	58.0
施設	2,567	55 (2.1)	57	45.0
計	3,031	67 (2.2)	65	46.6
ドック	1,576	37 (2.3)	103	15.3
合計	4,607	104 (2.3)	168	27.4
前年度	4,552	88 (1.9)	173	26.3

図 1　方式別受診状況

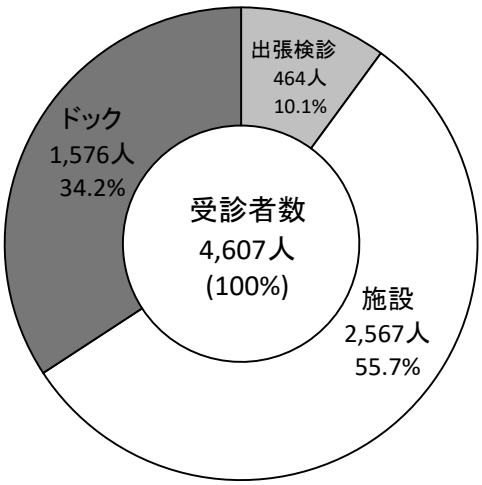


表３ 一次検診における発見疾患

	受診者数	ビラン（＋）	ビラン（疑悪性）	膣炎 トリコモナス症	膣炎 真菌類（キャンジダ）	膣炎 その他	ポリープ	外陰膣腫瘤	子宮筋腫	卵巣腫瘤	子宮脱	膣脱	その他	所見なし
出張検診	464						7		5		1	1	1	450
施　設	1,260						26		19		3	3	2	1,211
ドック	1,576						21		44				5	1,505
合　計	3,300						54		68		4	4	8	3,166

〈精検受診状況〉

子宮がん（頸部）検診の要精検者 104人のうち精検受診者95 人（ 91.3％）で、前年に比べて11.8ポイント上回った（表4）。

精検の結果、頸がんが 1 人で、上皮内がんが0人であった（表５）。

また、体部検診該当者はいなかった。

表４ 精検受診状況（頸部）

	要精検者数	精検受診者数(%)	発見がん
出張検診	12	12 (100.0)	
施　設	55	52 (94.5)	
ドック	37	31 (83.8)	1
合　計	104	95 (91.3)	1
前年度	88	70 (79.5)	1

表５ 発見頸がん（進行別・年齢階層別）

	上皮内がん	浸潤がん	合計 早期	合計 進行	合計
～29					
30～39					
40～49					
50～59					
60～69					
70～79					
80～		1		1	1
合計		1		1	1

肺がん検診

事業所及び個人受診者15,170人 と、ドックで5,142人、健康管理センターで897人 の計21,209人 を実施した。前年度に比べて、220人（1.0%）の減少となった。受診者の1.8% にあたる377人 が要精検となり、前年度より0.2ポイント下回った。また、肺がんX線撮影受診者21,209人 のうち、ハイリスク・グループを対象に実施した喀痰細胞診検査は、事業所の対象者1,197人 のうち検査者1,183人（98.8%）となり前年度と比べ0.3ポイント低く、ドックでは100%の回収となった。

なお、年間の実施日数は789日（前年より38日減 ）で、一日当たり26.9人 を実施した（表1）。

受診者総数21,209人 を男女別でみると、男性14,390人（67.8%）、女性6,819人（32.2%）と男性が多く、女性の約2.1倍 であった（図1）。

年齢階層別では、40代7,327人（34.5%）、50代6,359人（30.0%）、30代以下4,029人（19.0%）の順となっている（図2）。過去の推移をみてみると、60代、70代が上昇を示しており、30代、40代は減少傾向がみられる（図3）。

健診センター　　**表 1　受診者数及び要精検者数**

区分 / 主体別	胸部X線検査、CT検査		喀痰細胞診検査		実施日数	一日当たり実施数
	受診者数	要精検者数（%）	受診者数	要精検者数（%）		
出張	12,863	164 (1.3)	467	0 (0.0)	245	52.5
施設	2,307	34 (1.5)	123	0 (0.0)	158	14.6
ドック	5,142	157 (3.1)	446	0 (0.0)	208	24.7
合　計	20,312	355 (1.7)	1,036	0 (0.0)	611	33.2
附属健康管理センター						
事業所	897	22 (2.5)	147	0 (0.0)	178	5.0
合　計						
合　計	21,209	377 (1.8)	1,183	0 (0.0)	789	26.9
前年度	21,429	433 (2.0)	1,144	2 (0.2)	827	25.9

図 1　受診者数（男女別）

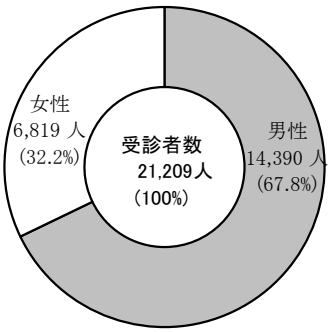


図 2　年齢階層別受診状況

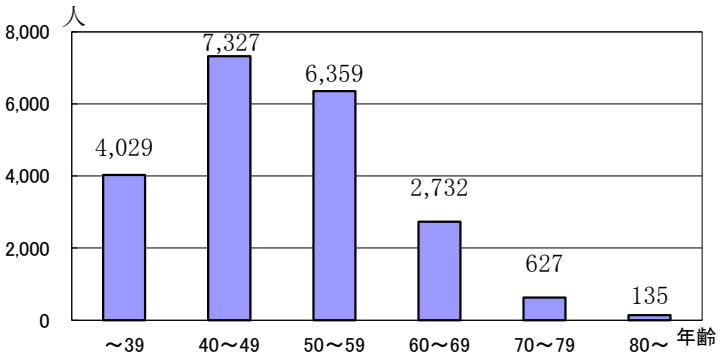
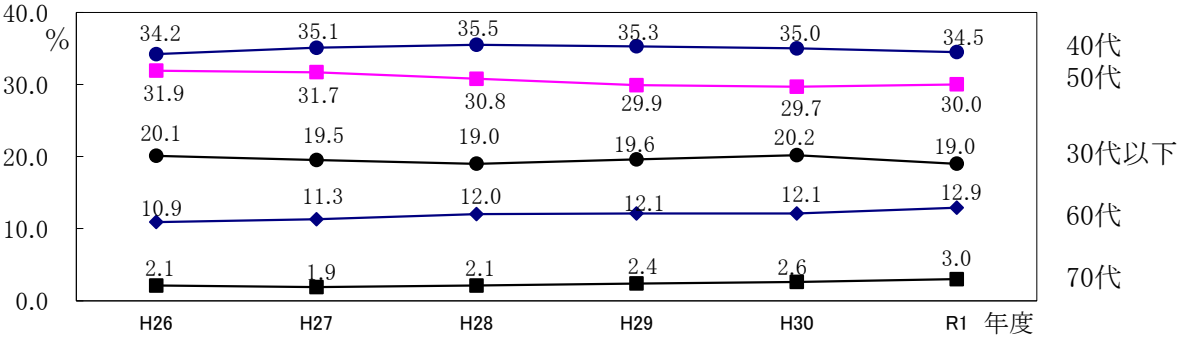


図 3　年齢階層別受診率（平成26年度～令和元年度）



<精検受診状況>

X線撮影で要精検となった377人 のうち精検受診者は314人（83.3%）で(図4)、前年と比べ4.2ポイント減少であった。男女別の精検受診率は、男性の83.1% に対し、女性は83.6% と男性より0.5ポイント高かった(表2)。実施主体別でみると、ドック75.2%、事業所は89.1% であった。

また、精検受診者の主な疾患は、肺がん2人、肺がん疑23人、他呼吸器110人 であった。

喀痰細胞診検査については要精検者はいなかった。

図 4 X線・CT精検受診状況

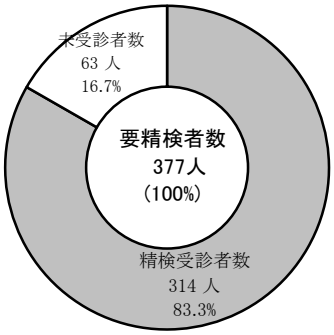


表2 X線・CT精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男 性	261	217 (83.1)
女 性	116	97 (83.6)
計	377	314 (83.3)

表 3 主 な 疾 患

区分 / 主体別		受診者数	要精検者数	精検受診者数	精密検査結果 肺がん 早期	肺がん 進行	肺がん 不明	肺がん疑	他悪性腫瘍	結核要医療	結核要観察	結核治癒	他呼吸器	循環器	他異常	異常なし
X線・CT検査	事業所	16,067	220	196		0		10	2				68	3	13	100
	ドック	5,142	157	118	1	2 1		13	3			1	42	1	6	50
	計	21,209	377	314	1	2 1	0	23	5	0	0	1	110	4	19	150
喀痰検査	事業所	737	0													
	ドック	446	0													
	計	1,183	0		0	0	0									
合 計			377	314	1	2 1	0	23	5	0	0	1	110	4	19	150

表 4 確定がん（年齢階層別・男女別・早期進行別）X線(CT含む)

区分 / 年齢別	早期がん 男性 X線	早期がん 男性 喀痰	早期がん 女性 X線	早期がん 女性 喀痰	早期がん 計	進行がん 男性 X線	進行がん 男性 喀痰	進行がん 女性 X線	進行がん 女性 喀痰	進行がん 計	不明 男性 X線	不明 女性 X線	合 計
～ 39													
40 ～ 44													
45 ～ 49													
50 ～ 54						1				1			1
55 ～ 59													
60 ～ 64													
65 ～ 69													
70 ～ 74													
75 ～ 79			1		1								1
80 ～													
合 計	0		1		1	1		0		1	0	0	2

乳がん検診

222事業所及び個人受診者1,112人と、ドックで1,950人、健康管理センターで1,080人の計4,142人を実施した。前年度に比べて33人（0.8％）の減となった。

受診者の7.3％にあたる304人が要精検となり前年度比で0.1ポイント高くなった。なお、年間の実施日数は318日で、一日当たり13.1人を実施した。

受診者のうち乳房画像診断のみの者は4,175人（100.0％）であった。

総合健診センター　　**表１　受診者数及び要精検者数・経過観察者数**

	実施主体	乳がん検診			検査方法			実施日数	一日当たり実施数
		受診者数	要精検者数	(%)	視触診のみ	画像診のみ	視触診＋画像		
出張検診	事業所	269	19	(7.1)	－	269	－	17	15.8
施　設	事業所	843	65	(7.7)	－	843	－	73	11.5
ドック	事業所	1,950	165	(8.5)	－	1,950	－	116	16.8
合　計		3,062	249	(8.1)	－	3,062	－	206	14.9
附属あおもり健康管理センター									
施　設	事業所	1,080	55	(5.1)	－	1,080	－	100	10.8
	計	1,080	55	(5.1)	－	1,080	－	100	10.8
合　計									
出張検診	事業所	269	19	(7.1)	－	269	－	17	15.8
施　設	事業所	1,923	120	(6.2)	－	1,923	－	173	11.1
ドック	事業所	1,950	165	(8.5)	－	1,950	－	116	16.8
合　計		4,142	304	(7.3)	－	4,142	－	306	13.5
前　年　度		4,175	301	(7.2)	－	4,175	－	318	13.1

ドックでは乳房超音波検査とX線を用いた画像診断としている

<精検受診状況>

乳がん検診での要精検者304人のうち精検受診者は286人（94.1％）で（図１）、前年と比べて1.7ポイントの増となった。精検受診者の主な発見疾患は、乳がん発見数11人（0.3％）のうち早期がん10人、進行がん0人、不明1人で、乳腺腫瘍6人（1.0％）、乳腺症26人（9.1％）などであった（表２）（図２）。また、マンモグラフィ＋乳腺超音波受診者は1,442人（34.8％）で、そのうち要精検者は138人、精検受診者は127人(92.0%)、がん発見数は4例(0.3%)であった。

図１　乳がん検診精検受診状況

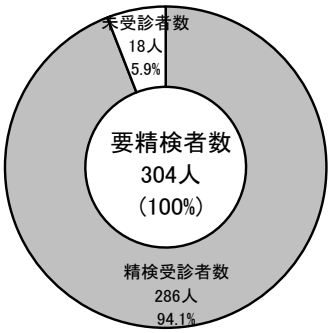
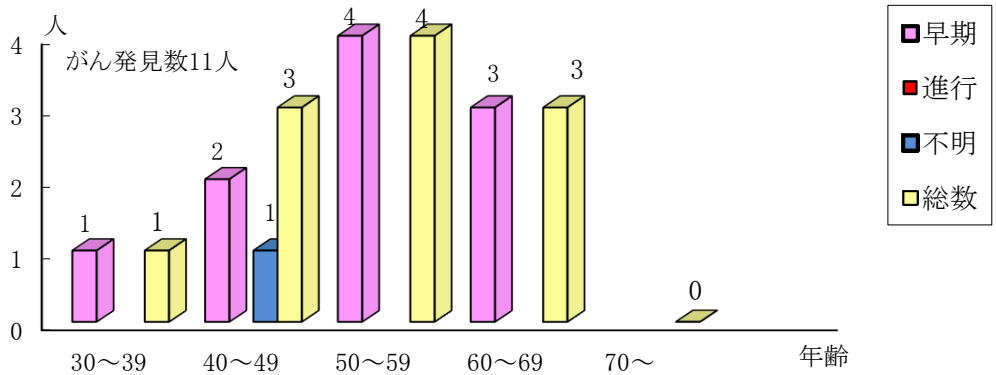


表２　主　な　発　見　疾　患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	精密検査結果 乳がん 早期	進行	不明	乳がん疑	乳腺腫瘍	乳腺症	線維腺腫	その他	異常なし
事業所	2,192	139	134 (96.4)	4				2	9	9	48	62
				3		1						
ドック	1,950	165	152 (92.1)	7				4	17	14	71	39
				7								
合　計	4,142	304	286 (94.1)	11				6	26	23	119	101
				10		1						

図２　発見乳がん（早期進行別・年齢階層別）



大腸がん検診

948事業所及び個人受診者18,760人と、ドックで5,038人、健康管理センターで14,666人の計38,464人を実施した。前年度に比べて、1,283人（3.45%）の増加となった。受診者の4.2%にあたる1,607人が要精検となり、前年比で0.1ポイント低くなっている（表1）。

受診者総数38,464人を男女別でみると、男性24,307人（63.2%）、女性14,157人（36.8%）で、男性が約6割を占めている（図1）。

年齢階層別では、40代13,364人（33.4%）、50代12,723人（33.1%）、30代以下5,504人（14.3%）の順となっている（図2）。過去6年間の推移をみてみると、60代、70代は連続して上昇傾向を示しているが30代以下、40代は下降傾向、50代は直近3年間では横ばいとなっている（図3）。

総合健診センター　　表１　受診者数及び要精検者数

	出張検診		施設		ドック		合計	
	受診者数	要精検者数（%）	受診者数	要精検者数（%）	受診者数	要精検者数（%）	受診者数	要精検者数（%）
事業所	11,229	448 (4.0)	7,531	306 (4.1)	5,038	207 (4.1)	23,798	961 (4.0)
附属あおもり健康管理センター								
事業所	3,765	163 (4.3)	10,901	483 (4.4)	*	*	14,666	646 (4.4)
合計								
合計	14,994	611 (4.1)	18,432	789 (4.3)	5,038	207 (4.1)	38,464	1,607 (4.2)
前年度	14,410	623 (4.3)	17,851	789 (4.4)	4,920	203 (4.1)	37,181	1,615 (4.3)

図１　受診者数（男女別）

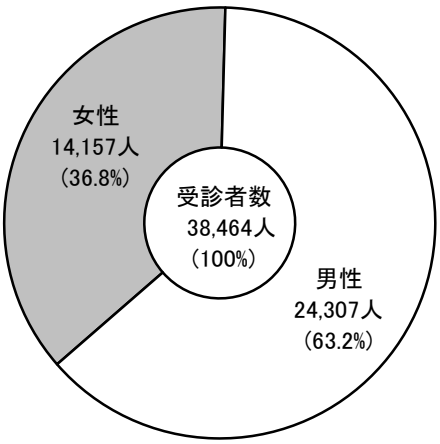


図２　年齢階層別受診状況

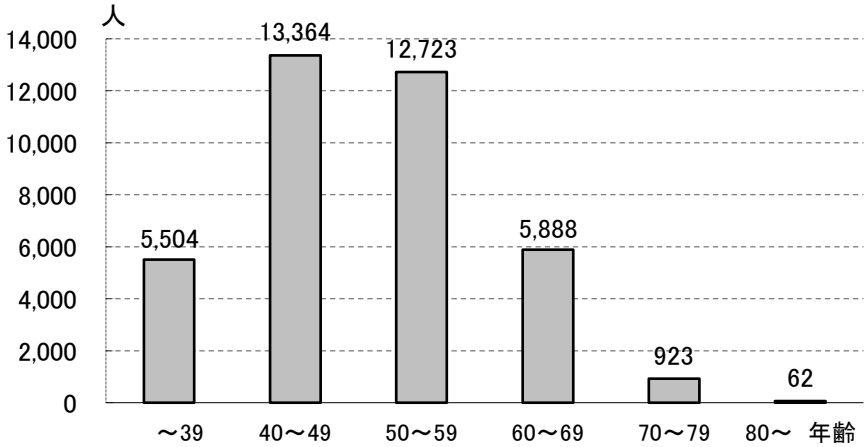
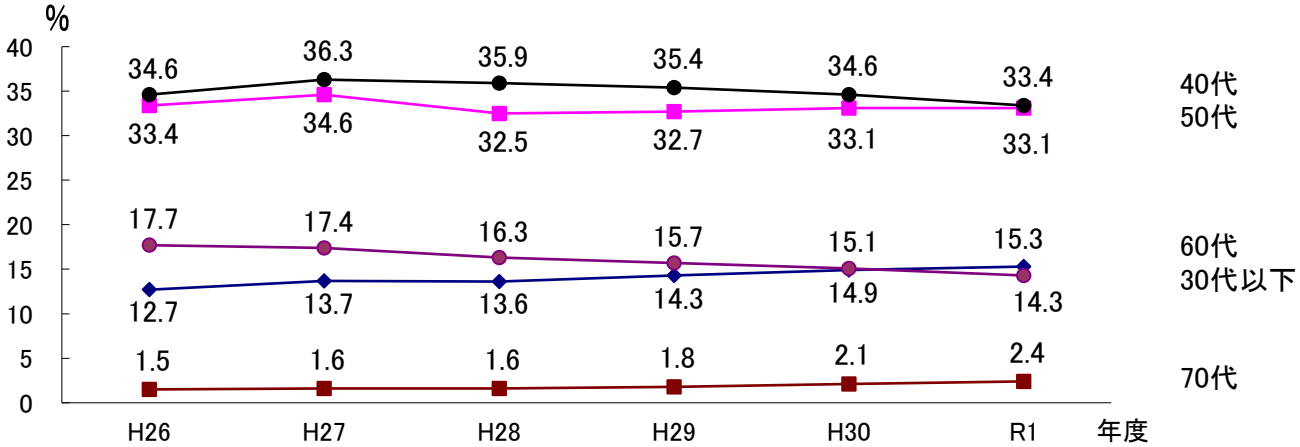


図３　年齢階層別受診率（平成26年度～令和元年度）



<精検受診状況>

要精検者1,607人のうち精検受診者は1,109人（69.0％）で（図４）、前年に対し2.2ポイント低くなった。男女別の精検受診率は、女性の71.2％に対し、男性は68.1％と若干の差はあった（表２）。また、実施主体別で見ると事業所の精検受診率（69.0％）が、市町村の精検受診率（81.5％）に比べ12.5ポイント低かった 。

精検受診者の主な発見疾患は、大腸がん発見数27人(0.07%)、うち早期がん21人、進行がん6人で、大腸ポリープ568人（1.48%）、大腸憩室63人（0.16%）などであった（表３）（表４）（図５）。

図４ 精検受診状況

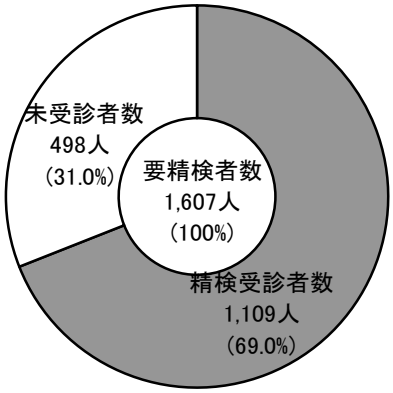


表2 精検受診状況（男女別）

	要精検者数	精検受診者数 (%)
男 性	1,125	766 (68.1)
女 性	482	343 (71.2)
計	1,607	1,109 (69.0)

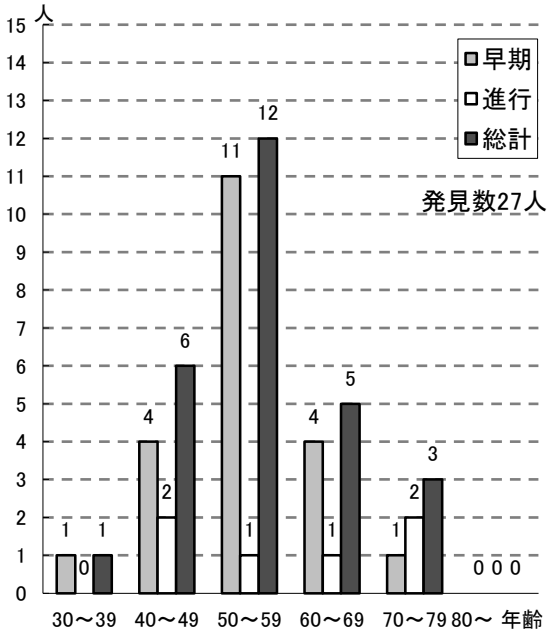
表3 主 な 発 見 疾 患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	精密検査結果 大腸がん 早期	進行	不明	大腸がん疑	大腸ポリープ	大腸憩室	大腸炎	痔	その他	異常なし	計	要精検者本人からの受診報告
事業所	33,426	1,400	949 (67.8)	20			4	484	53	36	34	18	261	910	39
				15	5										
ドック	5,038	207	160 (77.3)	7			1	84	10	7	11	1	37	158	2
				6	1										
合 計	38,464	1,607	1,109 (69.0)	27			5	568	63	43	45	19	298	1,068	41
				21	6										

表4 発見がん（年齢別・男女別・早期進行別）

		早期	進行	不明	男女計	合計
30～39	男	1			1	1
	女				0	
40～49	男	3	2		5	6
	女	1			1	
50～59	男	7	1		8	12
	女	4			4	
60～69	男	2	1		3	5
	女	2			2	
70～79	男	1	2		3	3
	女				0	
80～	男				0	0
	女				0	
男女計	男	14	6	0	20	27
	女	7	0	0	7	
合 計		21	6	0		

図5 発見がん（早期進行別・年齢別）



前立腺がん検診

172事業所及び個人受診者4,964人と、ドックで2,921人、健康管理センターで2,158人の計10,043人を実施し、前年度より634人（6.7％）の増だった。また、受診者の3.8％にあたる380人が要精検となった。なお、年間の実施日数は980日で、一日当たり10.2人を実施した（表1）（表2）。

実施にあたっては原則として50歳以上を検診の対象者とした。

年齢階層別では、50代3,235人(32.2％)、60代2,831人(28.2％)、70代1,441人(14.3％)、40代1,704人(17.0％)、80代以上282人(2.8％)、39歳以下550人(5.5％)となっている（図1）。

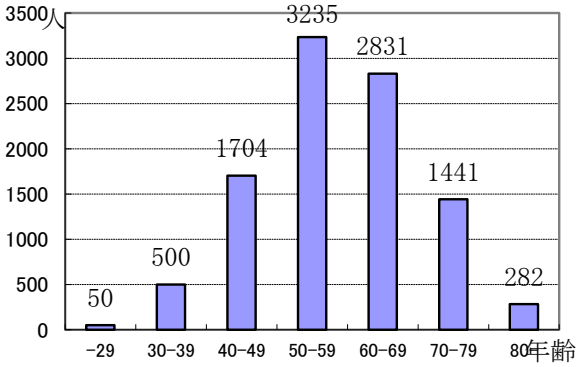
表 1　受診者数及び要精検者数

	出張検診		施設		ドック		合計		実施日数	一日あたり実施数
	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)		
健診センター										
事業所	4,208	192 (4.6)	756	34 (4.5)	2,921	71 (2.4)	7,885	297 (3.8)	713	11.1
附属あおもり健康管理センター										
事業所	395	18 (4.6)	1,763	65 (3.7)	*	*	2,158	83 (3.8)	267	8.1
合計										
合計	4,603	210 (4.6)	2,519	99 (3.9)	2,921	71 (2.4)	10,043	380 (3.8)	980	10.2
前年度	4,241	192 (4.5)	2,351	105 (4.5)	2,817	82 (2.9)	9,409	379 (4.0)	956	9.8

表 2　年齢階層別要精検者数

区分／年齢別	受診者数	正常	要精検			
		4.0 未満	4.0～10.0	10.1～20.0	20.1～50.0	50.1以上
～29	50	50				
30～39	500	499	1			
40～49	1,704	1,693	10	1		
50～59	3,235	3,150	77	7	1	
60～69	2,831	2,679	133	15	2	2
70～79	1,441	1,344	87	7	3	
80～	282	248	31	1		2
合計	10,043	9,663	339	31	6	4

図 1　年齢階層別受診状況



〈精検受診状況〉

要精検者380人のうち精検受診者は277人（72.9％）であった。精検受診者の主な発見疾患は、前立腺がん発見数37人（0.4％）のうち早期がん26人、前立腺肥大症112人（1.1％）などであった（表3）（表4）（図2）。

表 3　主な発見疾患

	受診者数	要精検者数	精検受診者数率	精密検査結果					
				前立腺がん			前立腺肥大	その他の疾患	異常なし
				早期	進行	不明			
事業所	7,122	309	244 (79.0)	34			96	35	79
				25	5	4			
ドック	2,921	71	33 (46.5)	3			16	3	11
				1	2				
合計	10,043	380	277 (72.9)	37			112	38	90
				26	7	4			

表4　発見がん（年齢別・早期進行別）

	早期	進行	不明	合計
40～49				
50～59	3	2	1	6
60～69	10	3	1	14
70～79	12	2	1	15
80～	1		1	2
合計	26	7	4	37

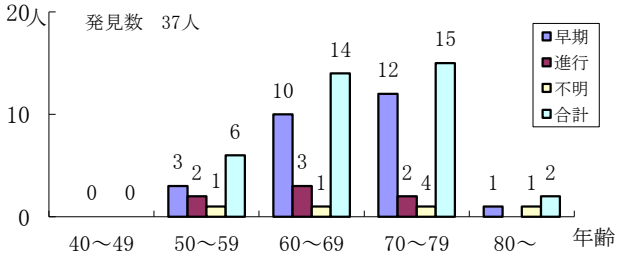



図2　発見がん（早期進行別・年齢別）